

地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会
令和3年度 第3回情報共有会合議事概要

1. 開催日時：令和4年2月25日(金) 14:00～15:30

2. 開催形式：ウェブ会議システムによるオンライン開催

3. 参加者 (33名)

HokkaidoWilds.org (1名)、北海道建設新聞社 (1名)、ハッピーアロー (1名)、北海道大学 (1名)、酪農学園大学 (1名)、北海道開発局 (7名)、北海道運輸局 (1名)、第一管区海上保安本部 (1名)、北海道庁 (6名)、北海道エネルギー・環境・地質研究所 (2名)、札幌市 (1名)、石狩市 (1名)、恵庭市 (2名)、北海道測量設計業協会 (1名)、北海道産学官研究フォーラム (1名)、日本写真測量学会北海道支部 (1名)、スペシャリストの会 (1名)、北海道オープンデータ推進協議会 (1名)、国土地理院 (2名)

4. 議事次第

① 挨拶 (北海道地方測量部長)

② 話題提供

1) UTM グリッド入りの英語表記登山地図 ―国内地形図を国際基準に―
(HokkaidoWilds.org 代表 トムソン ロバート様)

2) 建設ニュースを地図で発信「e-kensinマップ」
(株式会社北海道建設新聞社 山本 浩之様)

3) VR ナゾトキ地形 ～スマホで簡単！360度立体地形を楽しもう～
(株式会社ハッピーアロー 森 順子様)

③ 質疑応答及び意見交換

④ 挨拶 (北海道地方測量部長)

5. 議事概要

HokkaidoWilds.org 代表 トムソン様からは、UTM グリッド入りの英語表記登山地図について、主に UTM グリッドの有用性について御紹介いただいた。現在は、2019年 Geo アクティビティコンテストにて電子国土賞等を受賞した英語表記登山用地形図の視認性向上等を行ない、主に外国人観光客向けに情報発信しており、現地ガイド等からも UTM グリッド表記が支持されていることやユーザからのエンゲージメント (いいね!) 率が増加していること、国内地形図への UTM グリッド導入の重要性について御報告いただいた。

株式会社北海道建設新聞社 山本様からは、建築やインフラ等のニュースを地図で“見える化”した「e-kensin マップ」の取組について、札幌市との連携協定等の活用事例等を交えて御報告いただいた。また、地域性を生かしたスマートフォン等の活用による双方向型のコンテンツづくりなど今後の展望についても御報告いただいた。

株式会社ハッピーアロー 森様からは、「VR ナゾトキ地形」を使った地理教育への活用事例等を御紹介いただいた。当該製品は、地理総合の必修修化やコロナ禍における「質の高い学び」の体験による知的好奇心の向上等を主な目的として開発され、スマートフォンを利用し地形の立体画像やクイズを通じて手軽に体験できることなど、事例（函館地区等）を交えて御紹介いただいた。また、地理を専門としない高校教員による活用やインバウンド向けの商品への発展など今後の展望についても御報告いただいた。

質疑応答では、官部門の参加者から UTM グリッド表記によるアクセス数増加の有無、建築予定情報の記事を地図にプロットする際の工夫点、地理総合の必修修化を視野に入れた幅広い年齢層を対象としたコンテンツのリリース予定について、各話題提供者に対して質問があったほか、学部門の参加者からは、平成 30 年北海道胆振東部地震の際に UTM グリッド入り地図を自治体に提供した事例や、北海道地区（陸域）の UTM グリッドデータ公開情報 <https://ckan.hoda.jp/dataset/utm-1km> に関する情報共有があったほか、今年 6 月に開催予定の北海道フラワーソン <https://flowerthon.net/> において使用する地図への UTM グリッド表示の採用に向けて話題提供者と協働したい旨の発言があった。

北海道大学橋本教授（地理空間情報に関する北海道地区産学官懇談会座長）から各発表者へのコメントとして、UTM グリッドの表示について広域コードを別表示するなどユーザライクな点が秀逸である、「e-kensin マップ」は学生レポートにも活用されており人気度が高く具体的な位置をイメージできる良い企画である、「VR ナゾトキ地形」で扱われる（特に地元の事例を教材とした）多様なコンテンツの出現は地理総合にとって良い事である、との発言をいただいた。

最後に、3 月 18 日に開催予定の「2021 年度 Geo アクティビティコンテスト道内受賞者による Geo アクティビティ作品発表会」<https://dghok.com/event/11194.html> の参加案内があった（主催：特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会）。